目

次

名
部
の
名
称
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…

… 2

液
晶
表示部
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…

… 3

付属
品
に
つ
い
て

1 光
球
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…

… 4

2.白
色平

板・…

…
…
…
…
…
…
…
…

…・…
… 4

3.光

角
度板
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…

… 5

4

シ
ン
ク
ロ
コ

ード…

…
…
…
…
…
…
…
…

… 5

測定
の
準備

1.電

池
を
入れ
ま
す
…
…
…
…
…
…
…
…
…

… 6

2.電

圧
を
チ

エック

し
ま
す
…
…
…
…
…
…

… 7

3 1SO感

度
の
切換
え
…
…
…
…
…
…
…
…

… 7

4.タ

イ
ム
の
切換
え
…
…
…
…
…
…
…
…
…

… 8

露
出
の
測定
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…

… 9

コ

ントラストの

測定
…
…
…
…
…
…
…
…
…

… ‖

測定範
囲
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…

… 12

取扱
い
上
の
注意

…・…
…

…・…
…
…
…
…
…
…

… 13

ア
フ
タ
ー
サ
ー
ビ
ス
に
つ
い
て
…
…
…
…
…
…

… 14

仕

様・…

…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…

…・ 15

お
買
いあげを
いただき、

まこ

とに
あ

りが
と
う

ござい

ま

先

この
取扱説明書
を

よくお
読みい
た
だ

いて、

セ
コ
ニ
ッ

ク・デ

ジ
フ
ラ
ッ

シ

ュ(L-458)の

性能
を
十分
に

ご活

用くだ

さ

しヽ。

各部の名称液晶表示部
着脱指標 (白点)
光球
回転受光部
受光部回転台
液晶表示部
'則
光ボタンスイッチ
源 ON・ OFFキー
▲ (アップ)キー
▼ (ダウン)キー
iSO(フイルム感度セット)キー
シンクロターミナル
電池 .ヽ、た
ストラップll卜け
ISO(フイルム感度セット)キーと▼ (ダウ
ン)キー、▲ (アップ)キーに連重力してフイ
ルム感度が 「口変表示されます。
(IS03～ 8000)
it'原 ON・ OFFキー、をOFFにした場合
IS064に戻ります。
① 浪1定 F値の整数部が表示されます。
② 電
'原
ON・ OFFキーを、ONしたときに
bc文字が表示されます。
(小数項表示部と連動します)
① 測定F値の小数項表示
(1目盛 ZAV単位で表示されます)
② 電源ON・ OFFキーを、ONしたときに
電池の容ftが表示されます。
▼ (ダウン)キー、▲ (アツプ)キーに連動
して設定タイムが表示されます。
(‰ ～‰(秒)
電源ON・ OFFキーを、OFFにした場合
60(1う甦ります。

付属品について
1.光球
入射光式でポートレートや立体的な被写体
の露 Hlを測定するときに使用します。
〔取付け方法〕
光球と受光部の自点 (着脱指標)を合わせ
ます。つぎに光球を矢印方向に静力t il口 l転さ
せるとクリック櫛雀実にセットされます。
●取りはずすときは、矢印とは逆の方向 t二 |口 l
転させます。
〔測定方法〕
被写体の測定したしイt置から、光球を1liしく
カメラの方向 (]青〕けて測定します。
2.自色平板
入射光式で照明コントラスト、平面的な被写
体の露出を測定するとき(1使用します。
〔取付け方法〕
取付け、取りはずしは光球の場合と同じです。
〔測定方法〕
被写体の測定したし位置からrl色平板勧
'原
に正しく向けて測定します。
ただし、平面的な被写体の露出を測定する
ときは、被写体の測賃Ёしたしイう1置からrl色 →二
板をカメラの方向に向けて浪1定します。
4
3.光角度板
反射光式で被写体の反射光 (輝度)を測定
するときに使用します。輝度域調整用として輝
度のオロ対1ヒ (被写体のコントラスト)を知ると
きに必要なほか、入射光式では浪1定困難な
場合にも使用します。
〔取付け方法〕
取付け、取りはずしは光球の場合と同じです。
〔測定方法 〕
被写体に光角板を正しく向けて測定します。
なお被写体の部分測定をしたいときは、でき
るだけ近づいて預1定してください。
4.シンクロコード (男 u売)
露出:|とストロボをオ妾続してフラッシュ光を預1
定するとコニ使用します。この長さ5mのコード
は、3つのプラグを持ち、露出計とストロボおよ
びカメラを同調させることができるので、撮影
をするときtiもコードを差し換える必要がなく大
変便利です。また露出計イ員」の接続端 rは、
ロック機構がついているので確実t■妻続する
ことができます。なおコードをはずすときは、ロッ
クを角年除するリングの部分を持ち、手前に引
いてください。
5。ビューファイングー(男J売)
ビューファインダー (L‐518共通・受光角10°)
をご使用の場合は、あらかじめ使りllするフィ
ルムのISO感度を4倍にセットしてご使用くだ
さい。
((列)IS0100のフィルムを使ナllする場合
IS0100× 4=IS0400
をセットして
'貝
1定します。

測定の準備
1.電池を入れます。
電池は、単三乾電池 (1.5V)1本を使用しま
す。なお、マンガン乾電池 (SUM‐ 3)で連続
使用20時間以 L〈 常温・連続使用状態)の
測,こカミできまt。
〔電池の入れかた〕
① 電池ふたに指をか|た押しながら矢印の方
向に引いてはずします。
② 電池のOЭの極性を確認し、電池ケース
内の表示に合わせて、○イ員」を先に入れ指
でオ甲すようにして、正しく挿入します。
③ 電池ふたを本体に合わせ、スライドさせて
取りつけます。
〔注意 〕
●電池を入れるときは、電池のOЭの極1生を
まちがえないでくオごさい。
●電池のOЭの接点のよごれをのぞいて入
れてくださにヽ。
●電池の取り外しは、① 側 (■旨先をかけ○
側にオ甲すようにして取リタトしてく′ごさい。
※○側より外すとオ妾片をいためること力'ありま
す。
●1週間以_L使用しないときは、電池の漏液
などによる内部回路不良を防く
゛
ため、電池
を取り出し、ケースのサイドポケットに保管
して0ビさい。
2.電池をチェックします。
この露出計は、電池の電圧チェックを行いま
す。
〔チェックの方法〕
① 電源ON・ OFFキーを押している間は、b.c
の表示と電池電圧がドントで表示され、離
すと瀬1定,大態となります。
〔注意 〕
●電池の電圧が不足していると、キーを押し
ている間は、bo cマークが点滅または表示
力ヽ肖え不足を知らせます。このときは、新し
い電池に交換してくださにヽ。
●電池電圧が低下しかかつている電池で
は、一日寺的にb.cおよびドットが表示されま
すが、異常な表示をすることがあります。こ
のようなときは渕〒しい電池田酌替えてくださ
にヽ。
3.:SO感度の・LD換え
ISOキーをオ甲したまま,(ダウン)キーまたは
▲(アップ)キーをオ甲して、使用するフィルムの
ISO感度をセットします。
けJ)右の下図は上図よりISOキーを押した
まま▲キーを8回才甲してIS064→ 400に
変換されています。
□ ■ iS° 島暉
日 _・ _ □ 6」
測定状態
点滅
Ｌ
馨′ 義
電池不足状態
□ 月 iS° 1」θ
こJ _° _

露出の測定
●ISOキーをオ甲したまま▼キーまたは▲キー
を1秒以上押すと、約0.5秒間隔で、両方
のキーを押している間、連続で変換され
ます。
●フィノンム感度は、IS03～ 8000までセットで
きまt。
●ISO(ASA)。 DINの上辟史は下言このとおり
です。
4.タイムの切換え
▼キーまたは▲キーを押して測定するタイム
に合わせます。
(例)右の上図のときに▲キーを1度押すと、
下の図のようになります。
●タイム変換できる数イ直は、
え、‰、Z、 %5、 /0秒の5段階です。
口
un_._iS°
S暉
田 5」
↓
この露出計は、フラッシュ光と定常光の測定
ができます。フラッシュ光測定の場合は、露
出FItXトロボをシンクロコードで
｀
接続して測
定します。〔定常光の
'則
定はシンクロコードを
接続しなし,大態で使用します。その他は全て
同じです〕
〔測定の方法 〕
① 電源ON・ OFFキーを押します。
② ISOキーを押したまま、▼キーまたは▲キ
ーを押して使用フィルムのISO感度に合
わせます。
③ ▼または▲キーを押して使用するタイムを
設定します。(‰～‰0秒)
④ 露出計とストロボをシンクロコードで接続
します。〔定常光の場合はこの項は必要あ
りません〕
⑤ 測光ボタンスイッチを甲すとストロボが発
光して約0.5秒後に測定絞り値が表示さ
れます。再度測定するときは、測光ボタンス
イッチを再度オ甲してください。
●F鰭0)値連動範囲は、Fl.0～ 90J°''t
(90.9)までです。(Iso loOの場合)
●測定範囲を外れた場合は、F値表示が
E.o(オーバーー)、 E.u(アンダー)が表示
されます。
●測定後、約5分間は測定値がf呆持されま
すが、その後は省エネスイッチが作動して
自動自勺にOFFになります。
ヽ
ノ
ヽ
リ
口
」1。 _iS° ttJ
100 (125)
９
０ ０
18
3200
21
6400
口且un」中_IS° ttJ

〔iSO変換によるi則定後の演算につい
て〕
(例)測定後の表示が右上図のようなとき、
ISO数イ直を100から64(フ蛭換すると右
下図のように絞り値が8.0+%)から5.6
+%に演算されます。
〔注意 〕
●フラッシュ光の測兵L方,去は、コードイン浪1
定のみです。
(コードレス浪1定はできません)
●測定後のタイムの
'寅
算はできません。
●測光ボタンスイッチを押したとき液品の表
示が約0.5秒間1肖えますが故障ではあり
ません。
●タイム設定するときは、使用するカメラの同
調範囲内であること場鶴忍してください。フ
ラッシュバルカ場合の同調時間は%)秒
以下で測定してカメラの対妾点で同調さ
せてください。
●大型ストロボ (閃光持続時間の長いストロ
ボ)を使用して、フオーカルフ
゜
レンシヤッタ
ー付カメラで障i調させる場合は、光量不
足になる場合があります。カメラのX接点
の実同調時間を確認のうえ、ど使用くだ
さい。
10
●電源 ON・ OFFキーをOFFするビ没定さ
れたISO感度および、タイム(T)は初期
設定値にもどります。(IS064、タイム60)
●測定後は約 5分間で、省エネルギースイ
ッチ回路によりLCD表示は消え、電源は
OFFします。ON・ OFFキーがONのまま
で測定前の場合は、省エネルギースイッ
チ回路の時間は5分間の時間に規制さ
れない場合もあります。
●
'則
定中、LCDの設定値が
'肖
えてb.cが
表示され、それが点滅する場合は電池が
規定電圧以下ですので新しにヽ電池と交
換してください。
aun「F
コントラストの測定
キ
ー
ー
ー
ー
ー
ー
←
被写体位置で、主光源 11よる明るさと、補助
光源による明るさをそれぞれ測定し、月1明光
,原のコントラスト1ヒを調整します。
〔測定の方法 〕
① rl色平板と回転受光部の自点 (着脱指
標)を合わせ、自色平板御寺計方向に回
わして取りつけます。
② 電源ON・ OFFキーを押します。
③ ISOキーを押したまま、▼キーまたは、▲キ
ーを押して使用フイルムのISO感度に合
わせます。
④ ▼キーまたは▲キーを押してタイムを設定
しまt。
⑤露出計を被写体位置で保持し、ri色平
板の中心を主光源の中′じヽに正しく向けて
測定します。
⑥同様の操作で補助光源の露出を浪1定し
ます。この場合、主光源からの影響を受け
ないように注意してください。
⑦ そのときの:〕 i光源と補助光源の絞り差がコ
ントラスト1ヒ tiなります。
(lal)右図のよう(11絞り半ある場合はコントラ
スト1ヒは311となります。
〔注意 〕
●露出の決定は、光球をつけて入射光式で
'員
1定してください。
●ストロボ光の測定の場合はシンクロコード
をシンクロターミナルLl■ 続して浪」定してく
ノごさい。
主光源の測定値
□置unゴ"亀 iS° tt」
補助光源の測定値
絞り値の段差コントラスト比
―
％
２
３
４
５
２
３
４
８
‐ ６
３ ２

測定範囲取扱い上の注意
(128)
90
64
ISO感度のセットにより測定範囲 (F値表示)は、下図のようになります。
12 25 50 100 200 400 800 1600 3200 6400
-iSO
お買い上げいただいたセコニック・デジフラッシュL-458は、多くの電子
部品で構成された精密電子機器ですので、下記の点にご注意ください。
a・ 落下、または急激な衝撃は絶対にさけてください。
b・ 極度の高温、多湿な場所には保管しないでください。
c。光球、自色平板は傷がつかないように、また常に清潔に保つよう
t二してく′ごさい。
d。余分な電池のi肖もうを避けるため、使用時以外は、できるだけON
・ OFFスイッチをOFFにしてく′ごさにヽ。
e。この露出計の使用温度範囲は、 0℃ ～+40℃ です。
万一故障がおきましたときには、最寄の営業所、またはサービス.ステ
ーションにお持ちください。
お近く'に、営業所またはサービス・ ステーションがなく郵送される場
合には厚さ 3 cln以上の衝撃よけパッキングに包んでから、段ボールな
どで梱包してください。
＝
十
日
ＬＩ

アフターサービスにつして
弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引受けする保証書が添付
されておりますので、記載事項をお確かめのうえ販売店よりお受取り
ください。
なお保証書の再発行は致しませんので、取扱説明書と併せて大切に保
管してください。
●無料保証期間などについて
① 無料保証期間はお買上げ日よりlヵ
年間でございます。
②保証書にお買上げ日および販売店名
のないものは保証の対象になりませ
んので、必ずお確かめください。
③ 無料保証期間内でも有料修理となる
場合もございますので、保証書の記
載事項をお確かめください。
④ 保証期間経過後の修理は有料となり
ます。また、運賃諸掛りはお客様に
ご負担願います。
●補修用性能部品の保有期間などについて
① 補修用性能部品は 5年間を目安に保
有しております。したがって、本期
間中は原則として1蓼理をお受けいた
します。なお故障箇所によりまして
は期間力
｀
過ぎても修理可能の場合も
ありますのでサービスセンターにお
問合せください。
②修理可能期間はご使用の状態や環境、
お手入の状態などによって異なる場
合がありますので、現品をご持参の
うえお買上げ店またはサービスセン
ターにご相談ください。
③修理可能期間内でも浸水冠、強度の
ショック、その他損傷のいちじるしい
もので、修理後の機能維持に問題が
残ると思われますものにつきまして
は修理不■丁育ヒとなる場合力'あります。
●修理ご依頼時における留意事項
①修理品につきましては、故障内容を、
またご指定の1参理箇所があります場
合には、その指定箇所をできるだけ
具体的にお申し出ください。
ご指定のない場合には、各部点検を
はじめ品質的、性能的に必要と認め
られるすべてのところを検査・調整
・修理すること
`こ
なり、修理料金が
加算される場合がありますのでご留
意くださにヽ。
②修理をご依頼されたものの中には、
単に電池を交換するだけで正常に作
動する「故障していないもの」が見
受けられます。電池の容量低下、①
Oの逆、定格違いなどについて、よ
くお確めください。
●転居の場合の手続きについて
① 転居で販売店にご依頼しにくい場合
は、最寄りのサービスセンターにご
オロ言炎くナごさにヽ。
● お問合せ先について
本製品の保証、1蓼理、使い方などのお
問合せは、最寄りのサービスセンター
をご利用ください。
仕様
測定方式●入射光式、反射光式兼用
●フラッシュ光および定常光用デジタル露出計
測定範囲●フラッシュ光=Fl.0～F90+0.9AV (iSO 100).定常光=EV4～EV21.9
くり返し精度●±0.lEV以内
受光部●入射光式……光球、自色平板
●反射光式……光角度板 (受光角55°)
●受光素子……シリコン受光ダイオード
フイルターにより分光特 1生補正
校正常数●C=340 K=12.5
日盛表示(各数値の表示)
●ISO(ASA)… …・3～ 8000(%SVステップ)
●T(タイム)・ ………%～ %0秒 (lTVステップ)
●F(絞り)… ………1.0～ 90+0.9AVレ御Ⅳステップ)
小数項 」"・ L(0～ 0.9AV)
その他の表示●測定範囲アンダー表示……F値表示部E.u
● 〃 オーバー表示…… ″ E.o
●バッテリーチェック…………F値表示部b.c
電池の容量表示
使用電池●単三乾電池(1.5V)1本 (」IS:LR6、 SUM‐3(R6))
標準付属品●光球、自色平板、光角度板(その他別売でシンクロコード)
大きさ。重さ●142× 64× 28mm、約160g(電池含む)
この取扱い説明書に記載の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。